

Ⅱ 教育内容

1. 基礎分野

<考え方>

基礎分野では、「専門基礎分野」「専門分野」の基礎となる、人間に関する理解や、看護の対象を取り巻く様々な事柄に関して科学的に捉える考え方の基礎を学ぶ。

<目的>

人間についての理解・社会についての理解を深める。様々な看護を取り巻く現象について科学的に考えるための基礎を学ぶ。

<目標>

1. 看護の対象である人間は、身体的・精神的・社会的・スピリチュアル的側面をもつ存在であると理解する。
2. 人間理解のために、人間の心理・哲学的考えを学ぶ。
3. 看護の対象を取り巻く様々な事柄に関して科学的に捉える考え方の基礎を学ぶ。
4. 現代社会の変化を理解し、社会における医療についてのさまざまな出来事を理解する。
5. 学ぶことの意義と重要性を理解する。

1) 科目一覧

分 野		学 科 目 名	時期	単位数	時間
基礎分野	科学的思考の基盤	生活科学	1 学年後期	1	30
		生物学	1 学年前期	1	30
		物理学	1 学年前期	1	30
		情報科学Ⅰ	1 学年後期	1	15
		情報科学Ⅱ	2 学年後期	1	15
	人間と生活、社会の理解	心理学	1 学年前期	1	30
		哲学	2 学年前期	1	30
		現代社会学	1 学年前期	1	30
		コミュニケーション論	1 学年前期	1	30
		人間関係論	3 学年後期	1	30
		英語Ⅰ	1 学年前期	1	30
		英語Ⅱ	2 学年後期	1	30
		国語表現法	1 学年前期	1	30
	基礎分野 合計 (13)			13	360

2) シラバス

分野	基礎分野 －科学的思考の基盤－	対象学年	1
		時期	後期
授業科目	生活科学 Science of Life	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	外部講師		
科目責任者			
授業概要	健康な生活を営むために、衣食住を中心に、環境との共生や人間の健康に及ぼす影響について学ぶ。		
目標	健康で快適な生活を送るために必要な、衣・食・住に関する生活行動や生活環境を科学的に学ぶ。衣生活、食生活、住生活をとおり、現代人のライフスタイルの特徴を把握するとともに、看護にあたり生活を営む上で適切な助言や指導ができるための知識と能力を養う。		
評価方法	筆記試験の成績、授業中の課題等により総合的に判断する。		
使用テキスト	授業中に配布するプリント等の資料を中心にすすめる。		
参考図書			
メッセージ	生活科学は皆さんの生活に目を向けることを基本に、現代人のライフスタイルを再考する授業です。日常の生活に潜む問題点や課題に関心を持ち、主体的な態度で授業に臨んでください。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	社会の変化と生活への影響	社会の変化と生活への影響を理解する	1.生活の基盤としての衣食住 1)社会の変化と生活への影響	講義	
2	環境問題と生活との関連	環境問題と生活との関連について理解する	1.生活の基盤としての衣食住 2)環境問題と生活との関連	講義	
3	ライフスタイルと衣食住	ライフスタイルと衣食住について理解する	1.生活の基盤としての衣食住 3)ライフスタイルと衣食住	講義	
4	衣服の素材	繊維の特性と着心地について理解する	2.衣の生活科学 1)衣服の素材	講義	
5	快適な衣環境	衣服の快適性について理解する	2.衣の生活科学 2)快適な衣環境	講義	
6	健康と衣服	健康を維持するための衣服の役割について理解する	2.衣の生活科学 3)健康と衣服	講義	
7	現代人の食生活	日本人の食生活の変化について理解する	3.食の生活科学 1)現代人の食生活	講義	
8	食生活と健康	日本人の食生活と健康の関連について理解する	3.食の生活科学 2)食生活と健康	講義	
9	生活習慣病と食事	生活習慣病と食事の関係について理解する	3.食の生活科学 3)生活習慣病と食事	講義	
10	現代人の暮らしと住まい	日本の気候風土と住まいの関係について理解する	4.住の生活科学 1)現代人の暮らしと住まい	講義	
11	建材と健康	健康な室内環境について理解する	4.住の生活科学 2)建材と健康	講義	
12	バリアフリーと住宅	高齢者が安全・安心に住むことができる町づくり、家づくりについて理解する	4.住の生活科学 3)バリアフリーと住宅	講義	
13	現代人のライフスタイルの特徴	これからの居住環境について考える	5.学習の整理と展望 1)現代人のライフスタイルの特徴	講義	
14	健康で快適な生活環境の要件	健康で快適な生活環境の要件について考える	5.学習の整理と展望 2)健康で快適な生活環境の要件	講義	
15			終講試験		

分野	基礎分野 －科学的思考の基盤－	対象学年	1
		時期	前期
授業科目	生物学 biology	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	外部講師		
科目責任者			
授業概要	形態機能学、生化学および病態生理学など専門基礎分野の内容を理解するために必要な基礎を学ぶ。 生物のもつ諸現象を細胞および遺伝子レベルで解明し、探求する。		
目標	1. 形態機能学、生化学及び病態生理学など専門基礎分野の内容を理解するために必要な基礎を学ぶ 2. 生物のもつ諸現象を細胞および遺伝子レベルで解明し、探求する。		
評価方法	筆記試験の成績、必要に応じて小テスト等の成績を加算する。 また、授業中の態度等により総合的に判断する。		
使用テキスト	系統看護学講座 基礎3. 生物学 第8版 医学書院 桑澤清明 他著		
参考図書			
メッセージ	基礎分野の科目を学ぶことの意義と重要性を理解してください。 また、自らの知識の再確認と体系化に役立ててください。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	生命体のつくりとはたらき	生命体のつくりとはたらきを理解する	生命体のつくりとはたらき 細胞の構造・機能	講義	
2	生命体のつくりとはたらき	生命体のつくりとはたらきを理解する	生命体のつくりとはたらき 細胞膜の輸送、ウイルス	講義	
3	生体維持のエネルギー	生体維持のエネルギーを理解する	生体維持のエネルギー 生体内の化学反応	講義	
4	生体維持のエネルギー		生体維持のエネルギー 解糖系、TCA回路、ATP	講義	
5	細胞の増殖とからだのなりたち	細胞の増殖とからだのなりたちを理解する	細胞の増殖とからだのなりたち 細胞分裂（体細胞分裂、減数分裂）、 細胞の分化・老化	講義	
6	伝達情報とその伝達・発現のしくみ	遺伝情報の伝達と発現のしくみを理解する	伝達情報とその伝達・発現のしくみ 遺伝の法則	講義	
7	伝達情報とその伝達・発現のしくみ		伝達情報とその伝達・発現のしくみ 遺伝情報の担い手－DNA 遺伝情報伝達－RNA	講義	
8	伝達情報とその伝達・発現のしくみ		伝達情報とその伝達・発現のしくみ 遺伝情報伝達－RNA タンパク質合成－翻訳	講義	
9	伝達情報とその伝達・発現のしくみ		まとめ、演習問題（小テスト）	講義	
10	伝達情報とその伝達・発現のしくみ		伝達情報とその伝達・発現のしくみ 遺伝子発現の調節機構 遺伝子変異	講義	
11	生殖と発生	生殖と発生を理解する	生殖と発生 無性生殖と有性生殖、動物の受精と発生 哺乳類の発生	講義	

12	個体の調節	個体の調節を理解する	個体の調節 ホメオスタシス、各器官のはたらき（呼吸系、消化系、循環系）	講義	
13	個体の調節		個体の調節 各器官のはたらき（免疫系、排出系）	講義	
14	個体の調節		個体の調節 体液	講義	
15			終講試験		

分野	基礎分野 －科学的思考の基盤－	対象学年	1
		時期	前期
授業科目	物理学 Physics	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	院内講師		
授業概要	基礎看護技術の内容を学ぶ少し前に、身体の重心や可動域について物理的に学ぶ。また、様々な医療機器を使用する場合、故障時に原理を理解していると対処が考えやすい場合が多い。基礎看護技術や医療機器について理解する。		
目標	1. 基礎看護技術のボディメカニクスの力学的相互関係を物理学的視点で科学的に捉え、安全安楽について学ぶ。 2. 吸引・血圧・体温・注射などについて法則やメカニズムを物理的な視点で科学的に捉え、看護技術に応用していくことを学ぶ。 3. 看護に用いられる器具や技法について物理学的な視点で関連性について学ぶ。		
評価方法	筆記試験の成績、授業中の課題等により総合的に判断する。 1～6回：理学療法士 44 点 7～14 回：臨床工学技士 56 点		
使用テキスト	ベッドサイドを科学する－看護に生かす物理学－（学研） 授業中に配布するプリント等の資料を中心にすすめる。		
参考図書			
メッセージ	物理学の授業では、転倒や介助者の怪我について簡単な定義や公式を通じて理解を深めていきます。物理学は理論から学ぶと、医療とはなかなか結びつかないが、事例を交えて学ぶと物理学とは日常の業務の中で重要なものであると感じます。医療人として仕事をしていくためには、物理学的な視点をもつことが大切です。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	物理学と看護技術および病態との関係	物理学と看護技術および病態の関係について理解する	力学について 物理学と看護技術および簡単な病態との関係について	講義	
2	重心と支持基底面	重心と支持基底面について理解する	重心・支持基底面の関係、ニュートンの法則について	講義	
3	ベクトルとスカラー	ベクトル・スカラーについて理解する	ベクトル・スカラーについて	講義	
4	トルクと位置エネルギー	トルク・位置エネルギーについて理解する	トルク・位置エネルギー・運動エネルギーについて	講義	
5	紫外線・放射線と画像検査	紫外線・放射線と画像検査について理解する	紫外線・放射線について、胸部 X 線写真の見方、シネアンギオ、超音波について	講義	
6	トランスファーと体位変換	バイオメカニクスを通じて看護技術への理解を深める	授業内容を応用しながらの実技演習（トランスファー・体位変換）	講義 演習	
7	熱の性質や電気	熱の性質や電気について理解する	熱の性質、水の状態、電気	講義	
8	圧力の基礎知識	圧力について理解する	圧力の考え方、単位、褥瘡とエアマット、血圧、酸素、モニター、低圧持続吸引器	講義	
9	血圧に関する知識	血圧について理解する	観血血圧と非観血血圧、水銀血圧計、紫外線、心臓カテーテル検査、超音波	講義	

10	ネブライザー や医療ガス・酸素ポンベ	ネブライザーや医療ガス・酸素ポンベについて理解する	ネブライザー、病院内の医療ガス、酸素ポンベの考え方と取り扱い方、酸素療法時の加湿、高気圧酸素療法	講義	
11	気圧と輸液	気圧と輸液について理解する	気圧と水圧、密度と比重、肺のガス交換、輸液ポンプ・シリンジポンプについて	講義	
12	消毒と滅菌	消毒と滅菌について理解する	消毒と滅菌、オートクレーブの原理 EOG 滅菌について、内視鏡装置	講義	
13	酸とアルカリ	酸、アルカリについて理解する	酸、アルカリについて、 薬剤の濃度、当量、検査値の値について	講義	
14	拡散と浸透圧	拡散、浸透圧、内視鏡装置について理解する	拡散作用、浸透圧、等張液の考え方、血液浄化	講義	
15			終講試験		

分野	基礎分野 －科学的思考の基盤－	対象学年	1
		時期	前期
授業科目	情報科学 I Information Science	単位	1
		時間	15
		方法	講義・演習
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	専任教員		
授業概要	看護情報に関する知識や倫理、また研究の意義を理解し、情報を使いながら研究を行うための文献検索の基礎を学ぶ。		
目標	1. 看護における情報について理解する。 2. 看護情報の処理について理解する。 3. 看護情報に関する倫理について理解する。 4. 看護研究と文献検索について理解する。 5. 文献検索が実施できる。 6. プレゼンテーションソフトを活用した発表ができる。		
評価方法	終講試験 80 点 課題提出 20 点		
使用テキスト	系統別看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院		
参考図書	看護研究こころえ帳 医歯薬出版 エッセンシャル 看護情報学 医歯薬出版		
メッセージ	看護を学ぶうえで情報を管理することは重要なことです。一人ひとりが情報を守ることを意識しながら学習に取り組みましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	看護における情報	看護における情報とは何かを理解する。	1.看護情報学の定義 2.看護情報学に求められる能力 3.看護における情報の活用 4.看護師が身につけるべき ICT 能力	講義	
2	情報倫理と法	1.情報倫理の必要性について理解する 2.プライバシーと守秘義務について理解する	1.情報倫理 2.個人情報 3.プライバシーと守秘義務 4.個人情報保護法 5.実習における患者情報の取り扱い	講義	
3	Excel ,Word PowerPoint の基本操作	1. Excel ,Word ,PowerPoint の基本的操作を知る	1.データの入力 2.ワープロソフトの入力方法 3.プレゼンテーションソフトの基本操作	講義 演習	
4	看護研究と文献検索	1.看護研究の意義が理解できる 2 文献検索の意義が理解できる	1.看護研究と文献検索 2.文献リスト作成のための Excel の基本操作	講義 演習	
5	文献検索の実際	1.医中誌で文献を検索し入手する 2.文献リストが作成できる	1.文献の検索と入手 2.Excel を使用し文献リストを作成する。	講義 演習	
6					
7	プレゼンテーションソフトを使った発表	1.プレゼンテーションソフトを活用し発表ができる	研究発表	演習	
8			終講試験		

分野	基礎分野 －科学的思考の基盤－	対象学年	2
		時期	後期
授業科目	情報科学Ⅱ Information Science Ⅱ	単位	1
		時間	15
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	院内講師		
授業概要	医療においては、様々な情報を瞬時にやり取りする必要がある、看護におけるコンピューターと医療・看護情報システムについて学ぶ。		
目標	コンピューターと医療・看護の関わりを学び、医療情報システムと看護情報システムについて概略を理解する。		
評価方法	終講試験を実施し、その結果を成績として評価する。		
使用テキスト	系統別看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院		
参考図書			
メッセージ	オーダリングシステムや電子カルテシステムなど病院情報システムについて正しく理解し、今後の業務に役立てて欲しい。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	コンピューターと医療・看護の関わり	コンピューターと医療・看護の関わりを理解する	医療と情報について コンピューターと ICT（情報通信技術）に関する知識について 情報量の単位、コンピューターの基本構成 データの保存、インターネット、電子メール	講義	
2	情報と倫理	情報と倫理について理解する	情報と倫理について 情報リテラシー、情報セキュリティ、情報発信	講義	
3	看護における情報活用	病院情報システムについて理解する	看護における情報活用について	講義	
4	病院情報システム	病院情報システムについて理解する	病院情報システム、電子カルテシステムについて	講義	
5	医療情報システム	医療情報システムについて理解する	医療情報システムの構築と導入	講義	
6	看護情報システム	看護情報システムについて理解する	看護における情報システム活用例	講義	
7	臨床での実際	臨床で導入されている情報システムについて理解する	病院で導入されている電子カルテの閲覧方法	講義	
8			終講試験		

分野	基礎分野 一人間と生活、社会の理解－	対象学年	1
		時期	前期
授業科目	心理学 Psychology	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	外部講師		
科目責任者			
授業概要	人間を統合的に捉え、人間理解を深めるために心のしくみや働きを学び、対象のところに触れる看護の実践に役立つ基礎を学ぶ。		
目標	自分理解、人間理解を深めるため、心のしくみや働きを学び心理学的な考え方を理解する。		
評価方法	筆記試験の成績、授業中の課題等により総合的に判断する。		
使用テキスト	系統看護学講座 基礎分野 心理学		
参考図書			
メッセージ	人は、まず自分のことを知らないと、他人のことはわかりません。心理学的な考え方を理解することで、心理学の知識を仕事に活かすだけでなく、自分の人生を生きてく中でも参考としていけるようになることを目標とします。 また、授業の中でいくつか質問紙を体験するので、自分自身の性格についても理解を深めていってください。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	心理学の問題	心理学の問題を理解する	心理学の問題 心理学とは	講義	
2	知覚の心理	知覚の心理を理解する	知覚の心理 感覚と知覚	講義	
3	記憶の心理	記憶の心理を理解する	記憶の心理 記憶	講義	
4	思考・想像・言語の心理 知能の心理と知能検査	思考・想像・言語の心理を理解する 知能の心理を理解する 自己のストリに対する反応・対処の傾向を知る	思考・想像・言語の心理 知能の心理と知能検査	講義	
5	学習の心理	学習の心理を理解する	学習の心理	講義	
6	感情・情緒・情操の心理	感情・情緒・情操の心理を理解する	感情・情緒・情操の心理	講義	
7	性格の心理と性格検査	性格の心理を理解する 性格検査を行い、自己理解を深める	性格の心理と性格検査	講義	新版 TEG II
8	集団の心理	集団の心理を理解する	集団の心理	講義	
9	発達の心理①	発達の心理を理解する	発達の心理①	講義	
10	発達の心理②	発達の心理を理解する	発達の心理②	講義	
11	発達の心理③	発達の心理を理解する	発達の心理③	講義	
12	臨床心理	臨床心理について理解する	臨床心理	講義	
13	カウンセリング	カウンセリングについて理解する	カウンセリングの意義・方法	講義	
14	医療と心理学	医療に関する心理学の問題について理解する	医療・看護と心理学	講義	
15			終講試験		

分野	基礎分野 一人間と生活、社会の理解一	対象学年	2
		時期	前期
授業科目	哲学 Philosophy	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	外部講師		
科目責任者			
授業概要	哲学的思考を深めるために、その一領域である倫理学から教材を選び、考えるヒントを学ぶ。KP法、ディベートなどアクティブラーニングの手法を用いて、実践的思考力と表現力を養成する。		
目標	「自分」「死」「心」など、さまざまな事柄について自ら考え、行動することができる。		
評価方法	最終レポート、KPシート、振り返りシート、授業態度等を総合的に評価する。		
使用テキスト	「現代倫理学入門」加藤尚武（講談社学術文庫）		
参考図書	講義の中で紹介します。		
メッセージ	倫理学の命題を教材に哲学的思考力を深め、直面する課題を解決する手法を身につけてください。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	哲学と倫理学	哲学と倫理学の違いについて理解する。	哲学を学ぶにあたって、講義内容を理解し、哲学・倫理学を学ぶ意義を理解する。	講義 プリント	
2	嘘をつくことは許されるか	嘘をつくということは、倫理に反するの考える。	嘘はすべて悪なのか。嘘をつくことが善である場面を考え、その本質を理解する。	講義 プリント	
3	人の命の価値について	ヒトの命の重さを量り、比較することが可能か考える。	10人を救うために1人を犠牲にできるか。トリアージについて考える。	講義 プリント	
4	エゴイズムは反道徳的か	エゴイズム（利己主義）とは悪か考える。	許されるエゴイズムとはあるか。具体例を取り上げ、考える。	講義 プリント	
5	幸福は計算できるか	幸福の度合いを計算し比較できるのか考える。	身長、体重を計測するように、幸福の度合いも計算できるか考え、幸福の意味を知る。	講義 プリント	
6	判断能力とは何か	誰が、いつ、どこで、何を、判断するのか考える。	誰が判断し、誰が実践するのかを決定する根拠とは何なのか、考える。	講義 プリント	
7	事実と行動の関係	事実を行動に結びつけられるのか考える。	〈…である〉から〈…べきである〉を導き出すことができるか考える。	講義 プリント	
8	正義とは何か	正義とは常に正しいことか考える。	ものの見方において、善や正義は一つではないということを考え、理解する。	講義 プリント	
9	思いやりと道徳の関係	道徳と法・政治の関係を考える。	道徳的なモラルと法律、政治的なルールの関係について理解する。	講義 プリント	
10	正直者は馬鹿を見るか	正直者が馬鹿を見ない社会を作れるか考える。	正直者が損をしない社会をどうすれば作れるのか具体的に考える。	講義 プリント	
11	他人に迷惑をかけるか	迷惑をかけなければ何をやっていいのか考える。	権利と義務の関係について、具体的な事例を取り上げ考える。	講義 プリント	
12	貧富の格差は不正義か	社会的な分配のあり方から平等を考える。	貧富の格差を放置することは正しいのか。社会のあり方を考える。	講義 プリント	
13	未来への義務とは	現代社会の課題から、未来社会の在り方考える。	現代において、未来に悪い影響を及ぼす社会的課題を見つけ、その解決策を探る。	講義 プリント	
14	科学の発達と倫理	科学の発達と人間のあり方について考える。	A I 時代における人間の生き方あり方に関する課題を探究する。	講義 プリント	
15	人間とは何か	自ら今日の倫理的課題を取り上げ、考えを述べる。	哲学の講義をとおして考えた「倫理的な課題」について、自らの考えを述べる。	小論文 提出	最終評価

分野	基礎分野 一人間と生活、社会の理解	対象学年	1
		時期	前期
授業科目	現代社会学 Modern Sociology	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	外部講師		
科目責任者			
授業概要	人生をたどるうえで避けて通ることのできない社会的課題の解決に向けた手がかりを学ぶ。		
目標	多元化、多様化した現代社会を読み解き、課題をどう解決すればよいかを考えることができる。		
評価方法	最終レポートの提出、KPシート・振り返りシートの提出、授業態度を総合的に評価する。		
使用テキスト	生きることの社会学 -人生をたどる 12章- 川田 耕（世界思想社）		
参考図書	章末に参考図書になる「さらに学ぶための本」が明記されています。		
メッセージ	主体的に生きる個人として、課題を発見し、解決する手立てを考えるヒントを学習してください。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	社会学を学ぶにあたって	社会学を学ぶ意義を理解し、本講義を履修する姿勢をつくる。	社会学を学ぶ必要性を理解する。 テキストの目次と内容をしっかり確認する。	講義	
2	社会とは何か	テキストの構成を理解し、社会的動物としてのあり方を学ぶ	個人と社会との関係を理解する。 個人の社会化とは何か考える。	講義	
3	出生をめぐる社会学	出生をめぐる今日的課題を理解する。	生まれるまえ、生まれるとき、生まれたあと、それぞれの課題を理解し、考察する。	講義 KP法	
4	妊娠中絶を考える	妊娠中絶の実態を理解し、出生をめぐる課題を考える。	妊娠中絶の現状を把握する。 妊娠中絶の是非をディベート形式で議論する。	ディベート	
5	家族の歴史社会学	家族の歴史を学び、家族を取り巻く今日的課題を理解する。	母系家族、父系家族とは何か理解する。 今日的課題を要約し、理解する。	講義 KP法	
6	親子の心理・社会学	母子関係と今日的親子関係の課題を理解する。	母子愛着・信頼感とは何か理解する。 親子関係の変質について理解する。	講義 KP法	
7	学校と国家の政治社会学	家庭と学校の役割の変遷を理解する。	学校の社会化とは何か理解する。 公的機関としての学校の役割を考える。	講義 KP法	
8	成長における幻想と文化	人間の成長とは何か、成長のメカニズムを理解する。	成長における同一化とは何か理解する。 欲望と自我の関係を考える。	講義 KP法	
9	攻撃性の社会学	人間の持つ攻撃性の本質と課題を理解する。	人間の攻撃性の特性を理解し、虐待・いじめなど今日的社會問題について考える。	講義 KP法	
10	性愛と社会	思春期、恋愛、結婚の各ステージでの課題を理解する。	結婚すること、しないこと。それぞれのメリット・デメリットを考察し、ディベートする。	ディベート	
11	働くことと生きること	人はなぜ働くのか、自分の言葉で表現できるようにする。	労働の意義を理解する。 資本主義社会における労働のあり方を理解する。	講義 KP法	
12	老いゆく日々と社会	高齢社会の現状と課題を理解する。	老いの文化・心理を理解する。 老いによる社会的地位を考える。	講義 KP法	
13	死と社会	死を取り巻く今日的課題、家族と社会のあり方を考える。	宗教の意義と命の尊厳について考える。 延命治療の是非を考える。	講義 KP法	
14	これからの社会	未来社会を生きる自らのあり方と社会的責任について考える。	人間と社会の関係について改めて考えを整理し、自らの存在意義を自覚することができる。	講義	
15	レポート	社会学的課題を自ら考察し、アウトプットする。	今日的課題を一つ選択し、現状と課題、解決の手立てをレポートにまとめ、提出する。	最終レポート	最終評価

分野	基礎分野 一人間と生活、社会の理解ー	対象学年	1
		時期	前期
授業科目	コミュニケーション論 Communication Method	単位	1
		時間	30
		方法	講義・演習
担当教員	外部講師		
科目責任者			
授業概要	看護は人間関係を基盤にする。人間関係を作っていく上でコミュニケーションは重要である。社会人として身につけておかなければならない言葉遣いや立ち居振る舞いについて学ぶ。		
目標	社会人にふさわしい言葉遣いと立ち居振る舞いを身につける。		
評価方法	実技、終講試験		
使用テキスト	話しことばとコミュニケーション 日本話しことば協会 日本語検定中級テキストおよびステップアップ日本語講座（敬語について） 他、作成したプリント		
参考図書			
メッセージ	理解するだけでなく、学んだことを即実践してください。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	コミュニケーションとは	コミュニケーションの概念について理解する	コミュニケーションとは コミュニケーションの定義と成立過程	講義	
2	コミュニケーションの手段	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションについて理解する	コミュニケーションの手段 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション	講義	
3	コミュニケーション役割と効用	コミュニケーション役割と効用について理解する	コミュニケーション役割と効用 コミュニケーションの目的、コミュニケーションのすれ	講義	
4	ことばとパーソナリティ	ことばとパーソナリティの関係について理解する	ことばとパーソナリティについて（心の自立・自己開示）	講義	
5	音声表現の技術①	音声表現の技術について理解する	音声表現の技術 ①発声と発音の基礎	講義	
6	音声表現の技術②	音声表現の技術について理解する	②発生と発音の実際	講義	
7	音声表現の技術③	音声表現の技術について理解する	③アナウンスの実際	講義	
8	聴く技術	聴く技術について理解する	傾聴（聴く技術）	講義	
9	話す技術	話す技術について理解する	話す技術	講義	
10	敬語の種類と働き	敬語の種類とその働きについて理解する	敬語の種類と働き	講義	
11	敬語の形式	敬語の使い方について理解する	敬語の形式	講義	
12	接遇の実際	接遇用語や接遇表現について理解する	接遇の実際、接遇の用語、待遇表現	講義	
13	スピーチの実際①	多くの人々の前で自分の主張や意見を述べることができる	スピーチの実際	講義	
14	スピーチの実際②	多くの人々の前で自分の主張や意見を述べることができる	スピーチの実際	講義	
15		講義の内容の理解度について確認する。	終講試験		

分野	基礎分野 一人間と生活、社会の理解	対象学年	3
		時期	後期
授業科目	人間関係論 Human Relations	単位	1
		時間	30
		方法	講義 演習
担当教員	外部講師		
科目責任者			
授業概要	看護は人間関係を基盤とする。人間関係形成についてカウンセリング理論と技法を学び、その学びから人間関係形成の技術について習得する。		
目標	1. 人間関係とは何かについて考える。 2. 自分自身の理解を深める。 3. 自分の持つ、人との関わり方の特徴に気づく。 4. ストレスの処理の仕方について考える。 5. 自分の考えを他の人にわかってもらう、他の人の考えを理解する。 6. 今の自分があることを、必然性を持って感じる。 7. 患者と援助者の人間関係について理解する。		
評価方法	各授業でのレポート・自己評価		
使用テキスト	系統看護学講座 基礎分野 人間関係論		
参考図書			
メッセージ	体験学習がメインとなります。その体験をどう生かしていくかは、みなさまにまかせます。授業の中で体験したことを、心・頭にとどめておいて、時間をかけて内省を深めていってください。 人は人間との間で成長していきます。自分への気づきがうながされるような講義・演習を盛り込んでいきたいと思っています。この授業で一番大事なことが、“楽しんで体験していくこと”です。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	人間の存在と人間関係	間係的存在としての人間について理解する	人間の存在と人間関係について	講義	20 答法 気分尺度
2	基本的な人間観	基本的な人間観や対話について理解する	ケアとは、基本的な人間観、アイデンティティについて	講義	新版 TEG II
3	エゴグラムによる自己分析	エゴグラムを行い自己分析ができる	エゴグラムを活用して自己修正 コンセンサスゲーム	講義	
4	ストレス	ストレスとその対応行動について理解する	ストレスについて、対応行動	講義	SCI(5段階式 ストレスレベル 評価シート)
5	ソーシャルサポート	レジリエンス・自尊感情・ソーシャルサポートについて理解する	レジリエンス、自尊感情、ソーシャルサポートについて	講義	
6	役割意識	役割意識について理解する	ソーシャルサポート、役割について	講義	
7	今の私と理想の私	現実の私、理想の私について考える	今の私、理想の私 マップ	講義 GW	
8	体験学習	体験学習での基本姿勢を理解する	体験学習での基本姿勢 ワーク「今ここで」「私アンケート」	講義	気分尺度
9	ウソ発見	マインドリーディングを理解する	「ウソ発見」「スゴロク」「心の窓」	講義	

10	カウンセリング 技法や人間関係 形成技術①	演習を行い、カウンセリング技法 や人間関係形成の技術を習得す る	DVD 学習 登場人物の行動予測	講義	
11	カウンセリング 技法や人間関係 形成技術②			講義	
12	カウンセリング 技法や人間関係 形成技術③		ワーク「レジャーランド」	講義 GW	
13	カウンセリング 技法や人間関係 形成技術④		ワーク「わたしの大切な持ち物」	講義 GW	
14	カウンセリング 技法や人間関係 形成技術⑤		ワーク「今までの自分、人生コース図、余命3ヶ月」	講義 GW	
15	援助することの 再考	「援助すること」、共依存につい て考える	「援助すること」の再考、共依存について	講義	

分野	基礎分野 一人間と生活、社会の理解ー	対象学年	1
		時期	前期
授業科目	英語 I English I	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	外部講師		
科目責任者			
授業概要	高校で学んだ英語力を元に、看護場面や医療場面における英会話の基礎を学ぶ。		
目標	【目的】看護場面や医療場面における英語の基礎を学ぶ。 【目標】 1. 看護場面や医療場面における基本的な英語の表現方法を理解する。 2. 看護師として患者と英語で会話する具体的方法を学ぶ。 【授業の目標】 1. 医療場面の英語表現を理解する。 【授業方法】 1. 学生 4 人のグループによる英会話中心の講義です。		
評価方法	・第 15 回の講義時に、終講試験として口頭試験 Oral Examination を行います。 ・出席状況や授業参加度も評価に考慮します。		
使用テキスト			
参考図書			
メッセージ	あなたのひとことで患者さんがホッとする…そんな言葉がかけられる看護師になりたいですね！ ～日本語でも！英語でも！～		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	体の部位の英単語	主な体の部位の英単語を理解する	1) Ask teacher personal questions. Check main body parts. Listening. Make nurse's questions. Nurse-patient role-play.	講義	
2		看護師役と患者役でロールプレイができる			
3	許可や依頼の仕方	「Can」を使った許可の得かた、依頼の仕方が理解できる	2) Asking permission/making requests (Can I? Can You?). Number Quiz.	講義	
4					
5	「どうぞ」を使う英語表現方法	日本語で「どうぞ」を使う場合の英語表現方法が理解できる	3) How to say どうぞ. Listening (Patient in waiting room).	講義	
6					
7	短い会話文	看護師からの質問を訳すことができる	4) Check P.P. Listening (Have you ever experience?). Translation of nurse questions. Prepare short skit.	講義	
8					
9	診療科の英単語	病院の診療科の英単語が理解できる	5) Check department name. Listening (Directions in hospital). Students versions.	講義	
10					
11	例文を使用した会話	既習の例文を使った会話ができる	6) Scrambled conversation (giving advice)	講義	
12					
13	試験の準備	試験の準備ができる	7) prepare for test.	講義	
14					
15		グループで会話場面の発表ができる (口頭試験)	8) Present skits in groups. (skits) Oral Examination		

分野	基礎分野 一人間と生活、社会の理解－	対象学年	2
		時期	後期
授業科目	英語Ⅱ EnglishⅡ	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	外部講師		
科目責任者			
授業概要	英語Ⅰでの学びを元に、疾病の成り立ちや症状・治療について英文で学び、カルテや英文で書かれた看護論文を読む力を養う。また、看護場面や医療場面での英会話の実践を理解する。		
目標	【目的】看護場面や医療場面における英語を臨床で実践する方法が理解できる。 【目標】 1. 臨床で使われている医学英単語を理解する。 2. 入院患者の看護ケア場面の英会話の実践を理解する。 【授業の目標】 1. 基本的な医学英語の構成要素を理解し、医学英単語の覚え方を学ぶ。 2. 入院患者との看護ケア場面の英会話の実践を理解する。		
評価方法	Oral Examination ・第15回の講義時間に、口頭で終講試験を行います。 ・出席状況や授業参加度も評価に考慮します。		
使用テキスト	第1回目の講義時に英単語プリントを配布します。(1～5)		
参考図書	カルテを読むための医学用語 略語ミニ辞典 医学書院		
メッセージ	臨床で使われている医学英単語を学び、カルテを読む看護師になりましょう。 臨床での会話を英語で楽しみながら考えて話してみましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	入院患者への 病院の決まり の説明	入院患者の看護ケア場面の英会話を理解する	Explaining hospital rules to a new patient.	講義	
2	バイタルサインの説明		Explaining vital signs.	講義	
3	朝の検温時の		Talking a patient through morning check up.	講義	
4	会話				
5	医学用語	医学用語について理解する	Medical terminology.	講義	
6	医学用語を簡単に説明しよう		Medical terminology (explaining in simple English) .	講義	
7	医療カルテを読む	学習した英単語の知識を使ってカルテなどの文章を読む	Reading a medical chart.	講義	
8	予約をとろう	予約時の英会話を理解する	Arranging an appointment.	講義	
9	医学用語の復習	医学用語や医療カルテの復習と予約時の英会話の実践ができる	Test re weeks6/7 practice of week8.	講義	
10	症状の観察	症状の観察時の英会話を理解する	Common complaints.	講義	
11	既往歴を聞く ①	既往歴を尋ねるための英会話を理解する	Asking about lifestyle and medical history.	講義	
12	既往歴を聞く ②	グループで会話場面の発表ができる	Presentation	講義	

13	ナースコール の答え方	ナースコール対応時の英会話を 理解する	Responding to nurse call and questions at nurse station.	講義	
14	試験の準備	試験の準備ができる	Prepare for test.	講義	
15			Oral Examination		

分野	基礎分野 一人間と生活、社会の理解一	対象学年	1
		時期	前期
授業科目	国語表現法 Japanese Expression	単位	1
		時間	30
		方法	講義・演習
担当教員	外部講師		
科目責任者			
授業概要	自分の考えを伝える手段として言葉がある。言葉には書き言葉と話し言葉があるが、学生は高校で学んでいても不適切な使い方をしている場合が多い。また、話し言葉には、敬語があるがそれについても同様である。本科目では、日本における表現について、言語・文章及び接遇の視点で学ばせる。日本語に対する理解力・表現力を身につけるとともに、思考力や想像力を養い、言語感覚を学ぶ。		
目標	1. 日本語に対する理解力・表現力を身につけるとともに、思考力や想像力を養い、言語感覚を磨く。 2. 日本語検定3級合格		
評価方法	終講試験、提出物		
使用テキスト	日本語検定中級テキストおよびステップアップ日本語講座 他、作成したプリント		
参考図書			
メッセージ	語彙力は一朝一夕には身につけません。日頃から本や新聞を読み、語彙を増やす努力を。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	言語活動の重要性	言語活動の重要性について理解する	あらためて日本語を学ぶ意義 言語活動（話す・聞く・書く・読む）の重要性 日本語の特徴、理解語彙と使用語彙 語彙力テストの実施	講義	
2	語と語の関係と熟語の成り立ち	語と語の関係（類義・対義他）・熟語の成り立ちについて理解する	語彙 語と語の関係（類義・対義他）、熟語の成り立ち	講義	
3	文法の理解	文法について理解する	語と語の結びつき 自動詞と他動詞、陳述の副詞 小テスト（類義語・対義語）	講義	
4	多義語の言い換え	多義語の言い換えについて理解する	言葉の意味 類義語の使い分け、言葉の多義性動	講義	
5	動詞の活用形と可能形	動詞の受け身・自発の表現・形容詞・助詞の使い方について理解する	文法 動詞の活用形と可能形 小テスト（語と語の関係）動詞の活用形	講義	
6	文の文法	文の文法、主語・述語・修飾語の語順について理解する	文法 使役、受け身、自発	講義	
7	言葉のかかり受け	言葉のかかり受けについて理解する	文の文法 主語、述語、修飾語の語順、語と語の係り受け	講義	
8	文章の要約①	文章の要約について理解する	文章の要約「ことばの科学」（練習） 接続詞と指示代名詞の使い方について	講義	
9	文章の要約②	接続詞と指示代名詞の使い方を理解し、要約作業ができる	文章の要約「ことばの科学」（実践）	講義	
10	文章の添削	要約した文章を基に、文章の成り立ちを理解する	自分で書いた文章を自分でなおす 文章の要約「男と女のナゾ」要約についての解説	講義	
11	論理的文章の書き方①	論理的文章の書き方について理解する	論理的文章の書き方 簡潔な文を書く	講義	

12	論理的文章の 書き方②	現代仮名遣い・送り仮名などの日 本語の表記について理解する	論理的文章の書き方 論旨展開のパターンを考える 接続詞と指示代名詞の使い方について	講義	
13	文章を書く①	日本語検定合格にむけたとりく みができる	文章を書く	講義	
14	文章を書く②	文章を書き加えたり、削ったりし て改めなおすことができる	文章を書く（まとめ）	講義	
15		講義の内容の理解度について確 認する	終講試験		